

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】令和 4 年 5 月 17 日(2022.5.17)

【公開番号】特開 2021-24109(P2021-24109A)
【公開日】令和 3 年 2 月 22 日(2021.2.22)
【年通号数】公開・登録公報 2021-009
【出願番号】特願 2019-141132(P2019-141132)
【国際特許分類】

B 3 2 B 27/36(2006.01)

10

B 6 5 D 65/40(2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/36

B 6 5 D 65/40

D B R H

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 9 日(2022.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材と、ヒートシール層とを備え、

前記基材および前記ヒートシール層が同一の材料により構成され、

前記同一材料がポリエステル(但し、ケミカルリサイクルポリエステルは除く)であることを特徴とする、積層体。

【請求項 2】

前記ヒートシール層が、ポリエステル(但し、ケミカルリサイクルポリエステルは除く)から構成される未延伸フィルム、またはポリエステル(但し、ケミカルリサイクルポリエステルは除く)から構成される溶融押出層により形成される、請求項 1 に記載の積層体。

30

【請求項 3】

前記基材が、蒸着膜を備える、請求項 1 または 2 に記載の積層体。

【請求項 4】

前記基材と、前記ヒートシール層との間に、接着剤層を備え、

前記接着剤層が、ポリエステル系接着剤により構成される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の積層体。

【請求項 5】

前記基材と、前記ヒートシール層との間に、中間層を備え、

40

前記中間層が、前記基材と同一の材料により構成され、

前記同一の材料が、ポリエステル(但し、ケミカルリサイクルポリエステルは除く)である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の積層体。

【請求項 6】

前記積層体全体におけるポリエステルの含有量が、75質量%以上である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の積層体。

【請求項 7】

包装体用途に用いられる、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の積層体。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の積層体を備えることを特徴とする、包装体。

50